



その他の質問事項
 ・生活支援・介護予防について
 ・魅力創出、シビックプライドについて
 ・早野南町及び六田台から綱島の通学路用道路について

小久保 ともこ 議員

(公明党)

○平成27年度予算の収支見込について

問 本市は、急速に進展する少子高齢化の課題、安全で安心して暮らせる地域社会の構築と大きな転換期を迎えていると考える。社会経済情勢の変化に伴い財源収入も厳しい状況が想定されるが、来年度予算の収支見込について伺う。

答 歳入については、市税について評価替え等に伴う固定資産税の減収や、法人市民税の税率が下がることにより減収が見込まれる。また、地方交付税については、市税の減収分の増収は見込まれるが、現在、国からの地方財政計画が示さ

れておらず、不透明な状況であることから、引き続き厳しい財政運営が見込まれる。

歳出については、小中学校天井等落下防止工事及び防災行政無線施設事業などの安全・安心なまちづくりや、茂原にはる工業団地造成事業及び（仮称）茂原長柄スマートインターチェンジ設置事業など、将来を見据えた基盤整備に取り組んでいきたい。

○マイナンバー制度について

問 平成28年1月より、マイナンバーの利用が開始され、個人番号カードに組み込まれたICチップの空き領域で、独自利用が行えることとなっている。市民の利便性を考慮したマイナンバーの活用についての見解を伺う。

答 個人番号カードは、カードを必要とする方からの申請に基づき平成28年1月から交付するもので、身分証明書として利用できるほか、カード内にICチップが搭載されていることから、現在交付されている住民基本台帳カードと同様、市町村が独自に活用できるものとされている。ICチップの空き領域の活用については、多

くの自治体が検討段階にあるが、国においては、個人番号カードの普及に向けた取組みとして、健康保険証や印鑑登録証などの公的サービスに係るカード類との一元化を推進するとしていることから、国の動向に注視するとともに、情報収集に努め、費用対効果を考慮しながら、市民の利便性向上につながる個人番号カードの活用を検討してきた。



その他の質問事項
 ・平成27年度予算編成について
 ・行政改革について
 ・地方創生について
 ・生活困窮者自立支援制度について

佐藤 栄作 議員

(公明党)

○都市計画道路の整備について

問 都市計画道路の未整備部分はどのくらいあるのか伺う。

また、いまだ整備されていない本納地区の都市計画道路は、今後どのように整備する考えなのか伺う。

答 本市の都市計画道路は、昭

和29年以降、現在までに31路線、延長にして61・2 kmを都市計画決定し、そのうち、29・9 km、約48%が完成している。現在は、茂原駅前通り地区土地区画整理事業及び街路事業により、おりひめ線、ひこぼし線、高師町下井戸線など、中心市街地の3・7 km、約6%を実施しているところであり、未整備部分については、市街地緑辺部や本納駅、新茂原駅へのアクセス道路など27・6 km、約45%となっている。

本納地区の都市計画道路の整備については、交通結節点である駅へのアクセス道路として、整備の必要性は高いと考えているが、現在は、中心市街地において都市計画道路の整備を進めているところであるため、これらの進捗状況を見ながら検討していきたい。

○防災備蓄について

問 本市は、市内34箇所に防災備蓄倉庫があり、飲料水やアルファ米等の食料備蓄があるが、阪神・淡路大震災と同規模の被害想定から算出した、食料1人1日2食3日分の必要数量に対して少なすぎるのではないかと伺う。

答 地域防災計画における最大被害想定では、直下型地震により人口の約15%の避難者を予想しており、計画上では、1人1日2食3日分の8万2800食分が必要となる。

現在の市の備蓄食料は、約4万5000食であり、充足率は約54%であるが、不足分については、災害協定や県からの支援などにより対応することとしている。

なお、現在の備蓄で十分とは考えていないため、今後、も充足率の向上に努めていきたい。



その他の質問事項
 ・災害予防対策について
 ・美術館の活性化について

竹本 正明 議員

(政明クラブ)

○市民会館の建替計画を立てよ

問 現在、小中学校の耐震補強工事が進み、今後は公共施設の耐震化をはじめ、建替え等を推進しなければならない。